

南アフリカ為替週報

2023年7月6日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

<過去1週間の動き>

(6月29日～7月5日)

USD/ZAR: 18.6121～19.0434

ZAR/JPY: 7.60～7.76 (参照値)

先週1週間の南ア・ランドの相場は前半には6月下旬以降の反落の流れが続く。6月30日には対ドル19.0の節目の水準をいったん上回り減価が進む場面もあったがその後は持ち直し、1週間を通して見ればドル、ユーロ、円といった通貨に対してほぼ変わらずの展開となった。

経済指標では、6月30日に5月分の貿易収支が発表され、102億ランドの黒字と4月の40億ランドの黒字(35億ランドの黒字から上方修正)から黒字幅が倍増した。貴金属や機械・輸送品目といった項目の輸出が増加している。貿易収支(ならびに国際収支)の改善は、ランド相場にとってサポート要因となる。

先週は、南アフリカ準備銀行(SARB)の金融政策の動向を占ううえで、転機となりうる発言がクガニャゴ総裁から見られた。7月5日の現地メディアのインタビューで、同総裁はインフレ率がSARBが目標とする前年比+3～6%のレンジ内まで低下すれば、借入コストの上昇の影響は和らぐだろう、と発言している。同総裁は(7月19日に公表される)6月分のCPIは前年比+6%を下回ると予想している、とも述べている。こうした発言は、ランドの持ち直しやCPIの低下、さらには電力需要が増加する冬場を乗り切れば電力不足も和らぐ、という見方が背景にある可能性があるだろう。いずれにせよ、7月20日に控える次回金融政策決定会合での追加利上げの可能性は、6月分のCPIが予想を大きく上振れなければ、かなり低下したと見られる。短期金利市場でも、7月会合での25bpの利上げの織り込みは剥落しつつあり、7月5日時点でほぼ50%、という状況である。

もっとも、SARBのクガニャゴ総裁は6月28日のブルームバーグのインタビューで、「インフレ率がターゲットまで低下し、それが持続するという見通しが立たなければ利下げには転換しない」、「政策金利はより高く、その状態がより長く続く(Higher for longer)と発言しており、市場の早期利下げ観測をけん制している。7月5日の同総裁のインタビューでも早期利下げに前向きな姿勢は見られず、短期金利には若干の上振れ余地がありそうだ。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
6/29	10:30	PPI(前年比)	5月	7.5%	7.3%	8.6%
6/30	13:00	貿易収支(ZAR)	5月	6.0b	10.2b	4.0b
7/3	10:00	製造業PMI	5月		47.6	49.2

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう2週間の見通し>

(7月6日～7月19日)

USD/ZAR: 18.20～19.50

ZAR/JPY: 7.10～7.90

向こう2週間のランド相場は一進一退の展開を予想する。引き続き、ランド相場の動向は米国の金融政策をはじめ外部環境の影響が大きいと見られる。米FRBの7月会合での追加利上げの可能性を意識した展開となろう。7月7日公表の6月米雇用統計や7月12日公表の6月分CPIを始め、米国の経済指標は意識する必要がある。国内ではSARBの金融政策の動向が焦点となる。7月会合前日の19日に公表される6月分のCPIのデータでインフレ率の低下基調が一段と鮮明になれば、SARBの利上げ停止の公算が一段と強まる。金利差の面からはややランドには下押し圧力がかかりそうだ。

<向こう2週間に発表予定の主要経済指標等>

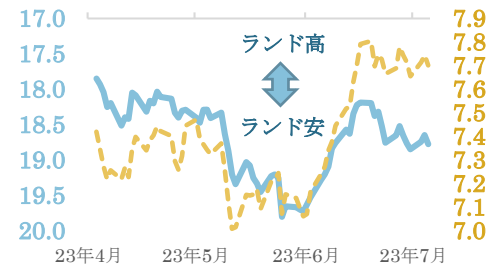
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
7/11	12:00	工業生産(前年比%)	5月			3.4%
	10:30	鉱業生産(前年比%)	5月			1.8%
7/19	09:00	CPI(前年比%)	6月			6.3%
	12:00	小売売上高(前年比%)	5月			-1.6%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランドの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

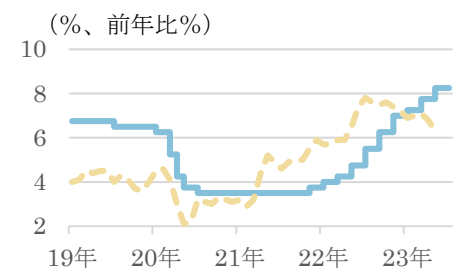
点線: 対円レート(右軸)



南アフリカ 政策金利と消費者物価指数(CPI)

実線: 政策金利

点線: 消費者物価指数(CPI)



南アフリカ 2か月後政策金利織り込み

(%ポイント)



* 2か月後スタート期間3か月のフォワードレートから、3か月JIBARを差し引いている。2023年7月5日時点。

(資料:ブルームバーグ)

<文責>

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

筆者出張につき、来週は休刊します。次回発行は7月20日の予定です。

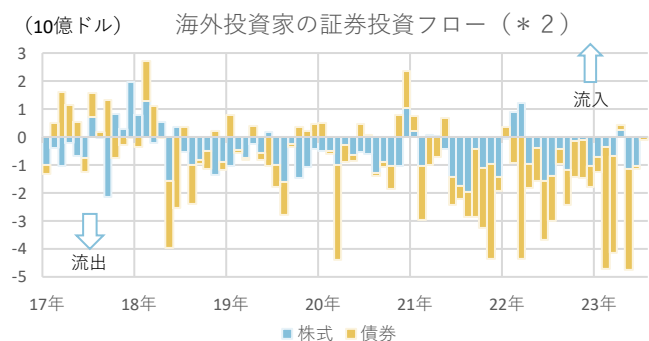
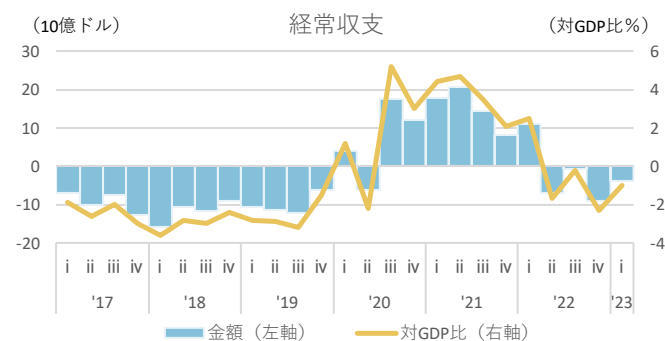
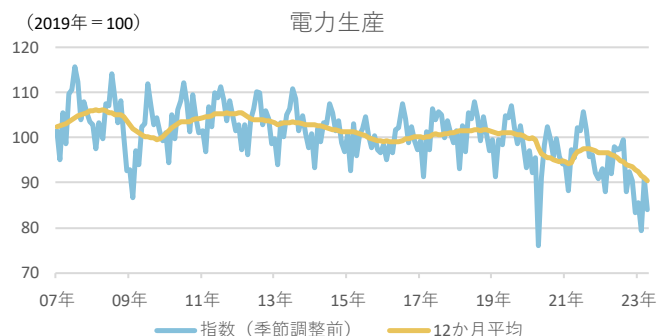
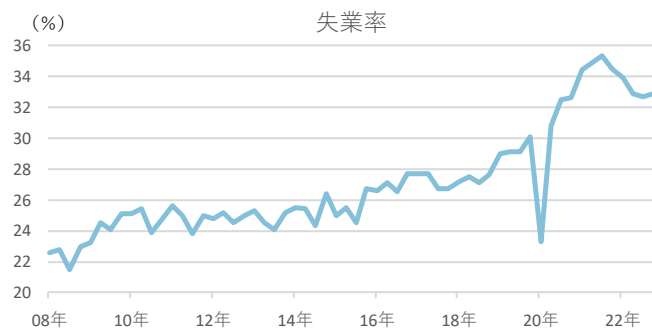
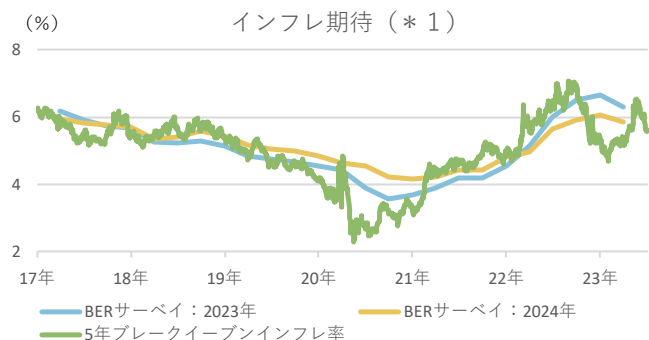
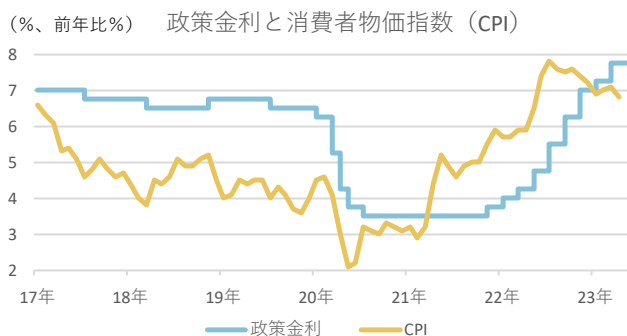
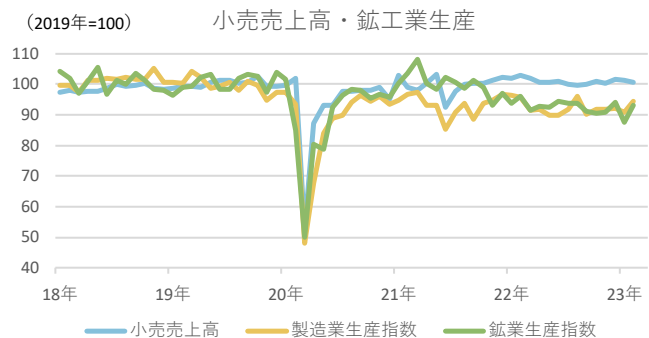
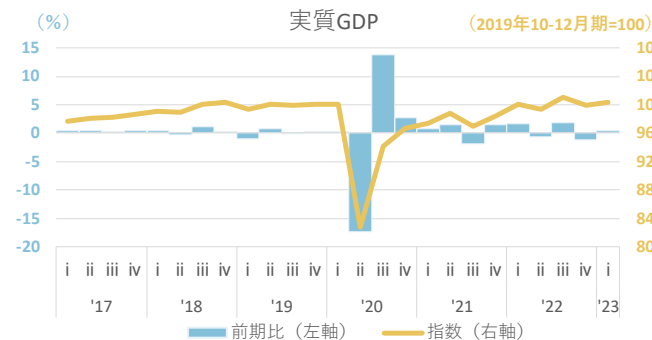
当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

南アフリカ為替週報

2023年7月6日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

<主要経済指標の推移>



- ＊1：BERサーベイは南アフリカ経済調査局（Bureau for Economic Research）による四半期ごとの調査。経済アナリストや企業などが調査対象となっている。
ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。
- ＊2：月次データ。ただし、2023年7月は1日から4日までの累計値。

（資料：南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルグ証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行）

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。